

もっと暮らしやすいまちへ

一緒に考えよう、前橋の未来。

図 未来の芽創造課 ☎027-898-6427

今まで、さまざまな社会課題や規制によって不便に感じていたことなどを解消し、暮らしやすい未来を実現するため、本市は国家戦略特区の指定（スーパーシティ）を目指しています。スーパーシティになると、大きな規制改革によって、これまで各分野ごとに取り組んできた実証実験段階の事業を実装することや、さまざまな分野にまたがった新たな取り組みが実現可能に。

個人のプライバシーを守る安全なセキュリティ対策を最重視しながら、市民の暮らしを豊かにしつつ、新型コロナウイルス感染症の経験を基に新しい生活様式を取り入れ、今後起こりうる非常事態に対応できるまちを実現します。

- 皆さんも日頃から不便に感じたり、困ったりしていることはありませんか？
- 病院に行きたいけど、車がないので誰かに連れて行ってもらわないといけない
 - なかなか仕事が休めなくて、平日に市役所や銀行へ行くのが難しい など。



そんな困りごとを
解決するために…

まえばしIDを使った
こんな未来を検討しています。
(サービス・イメージ例)

参考

これまで実施してきた 市民の皆さんとの意見交換会など

9月	オンラインタウンミーティング 10年後の前橋市を市長と語ろう	12月～ 1月	パブリックコメント
10月	市民ワークショップ3回	12月	オンラインシンポジウム スーパーシティへの挑戦 ～デジタルとスローをデザインする
11月～ 12月	市民アンケート (まちの安全ひろメールなどで)	2月～ 3月	回覧を通じた市民説明会
11月～ 1月	全国に向けたマイナンバー 活用アイデア募集		

今後も市民の皆さんと意見交換する機会を検討しています。

パネル展示と動画で分かる スーパーシティ

前橋市スーパーシティ構想のパネル展示を実施します。
日時＝3月6日(土)・7日(日)、10時～17時
会場＝けやきウォーク前橋（文京町二丁目）
また、PR動画を本市公式YouTubeチャンネルで公開しています。二次元コードからご覧ください。



オンライン診療



移動時間や待ち時間なしで、
仕事や家事の空いている時間に
受診できます。

救命活動



PHR(※)を活用し、倒れたときに救急隊員や医師が
すぐに本人を確認し、アレルギーや既往歴を見て、
適切な処置ができます。

※患者の医療・介護・健康データを収集し、
個人の健康に関する情報を本人の意思で
用いて適切な健康管理・診療・ケアを
受けられる仕組み

交通



自動運転バスなどで、ドライバー不足の
解決や公共交通の維持を図り、
自動車を持たなくても個人に合った
使い方で移動できる生活に。

まえばしID(身分証明)とは

マイナンバーカードとスマホ、顔認証を併用し、本市独自のデジタルID(身分証明)を創ります。対面・ネット双方でなりすましができない新しいIDにより、医療情報や口座情報など、民間と行政が分野ごとに管理する複数のデータを連携し、サービスの利便性を向上するための安心安全な仕組みです。なお、各データは分散して管理され、本人の合意がない限りは活用することができません。

前橋版スーパーシティのコンセプト 「スーパーシティ×スローシティ」

困りごとや今までの社会の制約をデジタル最新技術や新しい仕組みで解決し、それによって生まれた時間と心のゆとりで豊かな自然や歴史に触れ、食やアート、文化を堪能。学びの可能性を広げて、多様な人々がつながり、それぞれが自分らしい人生を生き生きと楽しむ生活の実現を目指すものです。

教育



対面授業とオンラインを併用し、
一人一人のペースに合わせた学習が可能に。
また、世界中の子どもたちと
つながって学習できます。

行政手続き



窓口業務をオンライン化することで、
来庁せずに24時間
行政手続きができます。

行政サービス



必要な人に必要なサービスを
的確かつ迅速に届けます。

インターネット投票



場所や時間を問わず投票できるように。
記入ミスによる無効票などもなくなり、
有権者の意思を正確に反映でき、
開票の迅速化や経費の削減が
見込めます。